

- 8:11 パピルスは沼地でなくても育つだろうか。
葦は水がなくても伸びるだろうか。
- 8:12 これは、まだ若芽のときには刈られないのに、ほかの草に先立って枯れる。
- 8:13 すべて神を忘れる者の道はこのようだ。神を敬わない者の望みは消えうせる。
- 8:14 その確信は、くもの糸、その信頼は、くもの巣だ。
- 8:15 彼が自分の家に寄りかかると、家はそれに耐えきれない。これにすぎりつくと、それはもちこたえない。
- 8:16 彼が日に当たって青々と茂り、その若枝は庭に生えいで、
- 8:17 その根は石くれの山にからまり、それが岩間に生えても、
- 8:18 神がもし、その場所からそれを取り除くと、その場所は「私はあなたを見たことがない。」と否む。
- 8:19 見よ。これが彼の道の喜びである。ほかのものがその地から芽を出そう。
- 8:20 見よ。神は潔白な人を退けない。悪を行なう者の手を取らない。
- 8:21 ついには、神は笑いをあなたの口に満たし、喜びの叫びをあなたのくちびるに満たす。
- 8:22 あなたを憎む者は恥を見、悪者どもの天幕は、なくなってしまう。

ビルダデがヨブに助言します。神を忘れる者の道として、枯れるパピルスやくもの糸の家などと同じで悲惨なだと説きます。ヨブが神を忘れた者なので、そのように悲惨になったのだという意図は明確です。

彼の言うことは正しいのですから、私たちはそれを謙虚に受け入れる必要があります。それと同時にそれは一面の真理でしかありません。すなわち因果応報的であり、律法主義的なのです。

律法によって自分の正しさを認めてもらおうとする人は、神から罪を指摘されることとなります。しかし、恵によって罪を認める者は、神から義と認められるのです。

正しい生き方をしながらも、恵によって赦され新しくされ、感謝しながら生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

